

ギガスクール

～学校で日常的にパソコンを
活用する学習が始まります～

問い合わせ 教育教育課(☎⑩8212)

今年度中に、全小中学校の児童生徒1人に1台パソコンの整備と、高速大容量の通信ネットワーク環境の整備を進めています。

これからの時代を生きていく子どもたちに必要な情報活用能力を育成することや、一人一人の個性に合わせた教育の実現を目指していきます。また、災害や感染症による臨時休校などの緊急時対応として、子どもたちの学びを保障できるように活用していきたいと考えています。

学習活動を一層充実 ～いろいろな学習の場面で活用～

個別学習場面

～調査活動、制作、家庭学習～



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録など、自分に合った進度で学習ができるようになります。また、AI(人工知能)ドリルなどで一人一人の学習状況を把握することにより、習熟の程度に応じた学習を行います。

一斉学習場面

～教員の教材提示など～



挿し絵や写真等を拡大・縮小したり、画面への書き込みをしたりするなど、子どもたちの興味・関心を高めることにより、分かりやすい授業ができます。

協働学習場面

～発表、話し合い、協働制作～



パソコンとモニター等を活用し、教室内での共同学習や他校との交流学习など、子ども同士が教え合い学び合う活動を通じて、思考力、判断力、表現力を育成していきます。

臨時休校時の学びを保障

～学校と家庭がつながる安心～

臨時休校などが長期に渡った場合、子どもたちはいつもと違う生活リズムの中でストレスを感じやすくなってしまいます。



テレビ会議システムや授業支援ソフトで学校と家庭をつなぐことで、学級担任がクラスの子どもの様子や健康・精神面の状態を把握したり、学習支援を行ったりすることができるよう準備を進めています。

情報モラル教育

～ネットいじめやトラブル防止～

「1人1台パソコン」の配備により、子どもたちにとって、インターネットはより身近な存在となります。



・ネットいじめやトラブル
・情報の確かさの判断
・生活や心身への影響
など、情報社会における道徳や安全への知恵といった情報モラル教育を家庭と連携してより一層充実させていきます。